



次代へ歩む
新小鹿野町の創造！

笠原 義行 議員

質 小鹿野町の予算編成過程について伺いたいと思います。

答 例年11月に町長が予算編成方針を定め、編成作業が始まります。12月下旬までに各課が予算案を作成し、1月上旬から総合政策課による事務査定を開始します。1月下旬から副町長の査定の後、町長査定を行い、2月上旬に予算案が決まり3月の町議会定例会に提案させていただきます。

質 町の予算に関して町民が自ら提案し、また、使えるような予算も取り入れていくべきと感じますが、いかがお考えか伺いたします。

答 尾ノ内の氷柱や日蔭のダリア園など、地域の方々の努力により町を代表する観光地になるなど、地域の人の力を感じているところがございます。こうした中、地方創生に関する国の制度で「地域運営組織」というものがございます。旧小学校単位などの地域内に「地域運営組織」をつくり、そ

の組織に対して、包括的な財政支援を行うことにより、住民自らが地域の

ことについて主体的に取り組む、地域資源の活用や助け合い、交通手段の確保、買い物支援など、その地域の課題に、できることから柔軟に対応することが可能になります。今後は現行の事業に加え、こうした地域住民が主体となった取り組みについて、積極的に支援をしていくことが町民ファーストのまちづくりにつながります。

質 三田川小学校の将来像をどのようにお考えか伺いたします。

答 現在は小規模校の良さを活かした取り組みが行われ、保護者や地域の方々から好意的な感想をいただいております。しかし今後の出生状況によつてはすべての学年で複式学級が生じる可能性もあります。学校規模の捉え方については、様々な要素が絡みますが、子どもたちの生育過程においては、ある程度の人数

がいて、多様で豊かな人間関係が経験できる活気ある環境の中で成長していくことが望ましいと思われまます。小規模校の良さを活かした取り組みにも可能性はありますが、努力や工夫だけではカバーしきれない要素があることも事実であり、将



防犯カメラ・移転移住促進・経費削減・空き施設について

高橋 耕也 議員

質 一般に、防犯カメラは犯罪被害の未然防止、犯罪予防等の有用性が認められております。今後、町内にも行政として防犯カメラの設置が必要と考えますがいかがですか。

答 今後、安心で安全なまちづくりができるよう、プライバシーの問題を考慮しつつ、関係機関と連携を取りながら検討していきます。

質 国は積極的に地方への移住や事業所の移転を働きかけています。町も積極的に事業所移転や既に

来的には学校統合は避けられない状況もあると考えられます。教育委員会としては、保護者や地域の皆様が主体的に協議を深め、合意形成が図られるよう必要な情報提供とその支援に努めてまいります。

仕事を持った個人事業主の制度を展開してはいかがですか。

答 業種を絞った優遇制度などを設けアプローチを行い、町が行える支援策や環境を整備し、魅力が伝わるようなPRをSNS等で発信できるように検討してまいります。

質 全国の自治体で公共施設の電力を、東京電力以外の新電力からの購入に切り替えたり、見直しをするなどで、電気料金が削減になった自治体が多くあります。当町で

も検討してはいかがでしょうか。

答 町も見直しに動き始めたところですが、契約電力年間電力量を基に見積りを取ったところ、昨年度ベースで約2000万円の経費削減ができる見通しですので、契約更新の手続きを進めてまいります。

質 旧両神中学校体育館のボルダリング施設は、教育の一環としても町の特徴を生かすにも有効なものだと思われまます。ただ町民に周知されていないようです。今後、どのような展開をお考えですか。

答 広報に加えサークル等の育成を図り、町民にクライミングを生涯スポーツとして認識いただける環境づくりに取り組んでまいります。

今後は専門家等にアドバイスをいただきながら、小鹿野町の優位性を生かしたアウトドアイベントを企画し、交流人口の増加を図りたいと思ひます。



町民とともにつくる
町づくりを

高橋 謙治 議員

質 空き家対策については、過去に実施の芸術文化の村づくりのような政策が必要。空き家を町が借り上げ住民票の異動を条件に貸与し、町で週末を過ごしてもらおうのはどうか。

答 交流・関係人口の増加には空き家の活用は必要だと理解しており、提案内容を踏まえ検討します。

質 バイクの森など空き施設の活用について状況はどうか。

答 複数の団体から利用の申し入れがあり、選定委員会を新たに設置し検討を開始しました。

質 町民も関心が強く、事業者の決定はプレゼンテーションを行うなど町民の意見を反映させていくのはどうか。

答 ガラス張りの町政を進めるため検討します。

質 町として東京五輪・パラリンピックへの取り組み

みはどうか。

答 多言語観光パンフレットの作成、フリーWiFiスポットの整備を行っています。また、農産物のPR等が行えるか検討していきます。

質 歌舞伎の常設舞台を作り、空港から直行バスを出し、町に滞在してからオリンピックに向かうルートを外国人に提案するのはどうか。

答 外国人が伝統文化に触れ合う機会は非常に素晴らしい企画であるので検討します。

質 引き続き中学校武道場のフェンス扉が障害となっており、事故発生の懸念が続いている。フェンスの先に水飲み場もある。何らかの対応ができないか。

答 扉の開放は法律の関係もあるため再度検証し最大限の運用を検討します。

質 新庁舎建設は、どのような町の未来があり、それに必要な庁舎という視点で考えていただきたい。よって初期段階から広く提案依頼を行い、深い検討と利用者としての町民

を交えた選定をしていたきたい。

答 職員だけで決定していくのではなく、幅広いご意見を伺うのも大事だと思っております。検討させていただきます。



長若の残土崩落への対策強化を・
放課後デイサービス施設の設置を

出浦 正夫 議員

質 昨年10月に発生した長若地内の埋め立て地崩落について、3月以降の町の対策について伺います。

答 4月11日付けで、県知事に対して要請書を提出しました。県に対しては、要請内容に添えていただくよう求めてまいります。

5月1日付けで、埋め立てを行った業者より崩落土砂処理の為、新たな埋め立て許可申請が町に提出されました。秩父環境管理事務所や秩父県土整備事務所など、県に技術的なご指導を頂きながら審査し、6月5日付け

で許可を出したところで、埋め立てる土砂については、崩落し現在、畑に積み上げられている土砂のみとすること、他の土砂を搬入しないよう条件を付しております。今後、事業が始まりましたら、同じような災害が生じないように県とも連携を取りながら現場管理を行いいたいと考えております。

質 県立秩父特別支援学校へ通学する児童・生徒に対する援助は、町としてはどのように対応いたしますか。放課後を安心し

て過ごせるよう小鹿野町に放課後デイサービス施設はできないか伺います。

答 小鹿野町から同校に19名の児童・生徒が通学しています。そのうち9名の児童・生徒が放課後デイサービスを利用しています。町は放課後デイサービス事業所への移動に対する支援として、学校から放課後デイサービスまでの移動に対する支援を行っております。

小鹿野町にも放課後デイサービス事業所が必要だということは重々承知しております。今後、保護者の声や実情を調査し検討してまいります。

